

③国際観光都市「日光」における渋滞対策

受賞機関 栃木県 県土整備部 交通政策課
 栃木県 日光土木事務所
 日光市

キーワード 観光地の渋滞対策、パーク＆ライド、一方通行化

全建賞審査委員会の評価ポイント

世界遺産「日光の社寺」周辺や「いろは坂」の行楽シーズンの交通渋滞を緩和するため、栃木県と日光市が民間企業と連携し、様々な渋滞対策を実施した取組み。パークアンドライドや、バス優先レーンの設置、いろは坂の一方通行化等を実施することにより、大幅な渋滞緩和、移動時間短縮が図られるとともに、アンケート調査を実施し課題等について整理を行っている点が評価された。

1. はじめに

世界遺産「日光の社寺」周辺や「いろは坂」では、行楽シーズンに激しい渋滞が発生し、国際観光都市「日光」のイメージや来訪者の満足度低下を招く要因となっているため、栃木県・日光市が国をはじめとする関係機関や民間企業と連携し、ソフト施策（パーク＆バスライド（P&BR）や交通規制）による様々な渋滞対策に取り組んだ。

2. 事業の概要

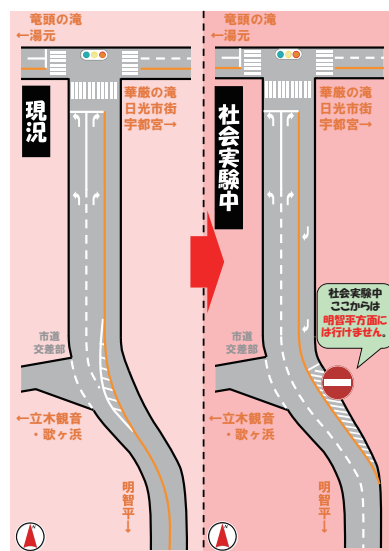
- (1) 栃木県では、国道120号の一部区間（L=約1.1km）にバス優先車線を設け、清滝地区の臨時無料駐車場から世界遺産地区へ民間路線バスを活用したP&BRを実施した。また、日光土木事務所を臨時駐車場としたホリデーパーキングを実施した（H30.4.28～5.6）。
- (2) 日光市では、日光霧降アリーナ駐車場を無料開放し、世界遺産地区へシャトルバスを運行するP&BRを実施した。また、日光小学校や日光砂防事務所を無料駐車場としたホリデーパーキングを実施した（H30.4.28～5.6）。
- (3) 第2いろは坂の渋滞は、二荒橋前交差点を右折し華厳の滝駐車場へ入庫する車列が原因のため、県は対面通行を2車線の一方通行にすることで右折左折の専用レーンを設け、左折車両を円滑に流す社会実験を行った（H30.10.27～11.4）。



バス優先車線（国道120号）の状況

3. 事業の成果

- (1) P&BR実施にあたり、路線バス活用によりコストを抑制、バス優先レーン設置により定時性を確保し、渋滞区間の迂回やP&BR利用促進のため有料道路の値下げも実施した結果、約2時間の時間短縮が確認された。
- (2) 周辺公共施設等の駐車場を活用し、シャトルバスによるP&BRやホリデーパーキングを実施した結果、約70分の時間短縮が確認された。
- (3) 渋滞要因である車線減少への対策として、2kmの対面通行区間を一方通行化した結果、約2時間の時間短縮が確認された。



第2いろは坂一方通行化のイメージ

4. おわりに

本社会実験では道路利用者への万全な周知が必要と考え、ホームページ・ラジオ・ツイッターによる情報発信、高速道路のSA・PAや道の駅へのチラシ設置、現場周辺道路での立て看板・道路情報板による周知、全国バス協会経由で観光バス事業者への情報提供などを行った。

今回の取組については一定の効果が確認できたため、アンケート結果も踏まえた上で、引き続き恒常的に対策を実施できるよう関係機関と調整していく。

日光地域における交通渋滞対策は、日光市だけでなく栃木県のブランド力向上のために必要不可欠であることから、今後とも地元関係者の理解を得ながら、官民連携により推進していきたい。